

2018（平成30）年度 大阪大学 文学部 入試問題 第2問 解答例

Ⅱ

問一

- (a) 挨拶 (b) 促 (c) 思惑

問二

- ① 受動 ② 能動

問三

自然現象は行為ではないとしても、猫の動作も自然現象であるから行為ではないというのは、比較的に人間に近い猫に関しては飛躍と思われ、簡単には承服しがたいということ。

(八〇字)

問四

行為と非行為との区別は、通常は単なる自然現象か故意かの違いに基づくが、すべては自然の存在であり複雑さの違いしかないと言われれば、区別をうまく説明できないから。

(七九字)

問五

行為を始めるには自然現象とは異なる人間の意志という心の働きが動力として必要であると仮定すると、その意志自体を引き起こすために、さらに自然現象とは異なる意志が必要となり、順次意志の意志を無限に遡らなければならなくなるので、行為と非行為の区別として意志の有無に依拠する説明は論理的に誤っているという意味。(一五〇字)